

いまからでも始めたい「起業の準備」

起業の成否は、その準備段階で決まってしまうものです。 → 別紙『独立・開業・起業への10のステップ』参照
 下記に提示した項目は、「実行しない」からといって必ずしも「起業できない」というものではありません。
 しかし、実行しなかった人は、「あの時からやっておけば良かった」と後悔することになるでしょう。

あなたの状況	あなたがやること・やるべきこと		補足説明
(退職して) 開業(起業)準備に 専念する段階で やってほしいコ してはいけないコ	⑫ 長期戦を 覚悟する	36 利益が上がるまでは全てを抑える 35 当面の事業計画は何度でも改める 34 最低でも3年は続けられる体制に	売上は不確定だが経費は確実に出て行く 成果と結果に即して臨機応変に対応していく 経費だけでなく食費以外の生活費も削減する
	⑪ 手続は 確実に	33 法人登記はいつでもできる 32 管轄官庁への申請・届出も自分で 31 税務署への開業届は自分で行く	「個人とは取引しない」は断る口実にすぎない 許認可事業の資格・免許は「保証」ではない 意外にも創業時は「個人事業」のほうが得も
	⑩ 小さく 始める	30 利益が出るまでは見栄を張らない 29 自分にしかできないコに特化する 28 最初は一人で始める	自宅 → 無料の場所 → 間借り → 格安物件 必要な人手はアルバイトか外注にして雇用しない 起業時に戦力になる人材は自分しかいない
自分の手がけたい ビジネスが 明確になった段階 なら (退職しなくても) できること やってほしいコ	⑨ 顧客を 獲得する	27 客が客を呼ぶ仕組みを試行する 26 実際にビジネスでの売上を確保する 25 まず最初の顧客を獲得してみる	専門サイト、メルマガ、メール・リストを軽視しない 勤め先の勤務時間外であればそれは「雑収入」 その顧客の「意見・評価・要望」を活かしていく
	⑧ 協力者を 増やす	24 「可能客」を「見込客」に変えていく 23 新たに出会った人にも伝えていく 22 全ての知り合いに伝えていく	自分の「ファンクラブ」「後援会」を作るつもりで 「そのビジネスと自分」を強く印象づける 「最適ビジネスか否か」が明確になっていく
	⑦ PR資料を 作成する	21 専門分野での著書を書き始める 20 開業予定用サイトの運営を始める 19 開業予定ビジネスのPRから始める	開業前に出版できれば有利(自費出版はダメ) これからの起業に専門サイトは絶対に不可欠 「1枚1件」で名刺・案内カード・パンフレットも作成
起業したい分野は 定まっているが 具体的な ビジネスプランが 無い段階でも できるコ やってほしいコ	⑥ 業務内容を 絞り込む	18 今からでも「できるコ」を列挙 17 仕事として「やりたいコ」を列挙 16 課題のために「やるべきコ」を列挙	何から始めたら最も有利かを考えておく 「仕事にしたいコ」「収入になるコ」を定める 課題毎に「やるべきコ」の計画を立てる
	⑤ したいコを 明確にする	15 生業(一人) or 家業(夫婦・親子) or 事業 14 起業家 or 事業家 or 専門家 13 好きなコ×得意なコ×必要なコ	「小さくても長く」 or 「やがては拡大成長」 就職 or 配転 or 転職 or 副業 or 修業 or 自営 or 作る・売る・手伝う・教える・もてなす・施す
	④ 仕事での 夢を描く	12 夢を実現するための目標を設定 11 その夢を実現したい理由を明確に 10 その分野での自分の理想を描く	その目標の達成に必要な課題を幾つも設定 その理由の中に「求めていること」がある 「本当にやりたいこと」を明確にしておく
起業したい分野や 起業したい時期が 定まっていない 段階でも できるコ やってほしいコ	③ 参考サイトを 研究する	09 HP作成コが使えるようになる 08 「HPでしかできないこと」を知る 07 HPで起業している実例を集める	頻繁な更新作業は自分でやるしかないから 分野・テーマ・特徴を絞り込んだHPは強い 「良いHP」「悪いHP」の判断ができるように
	② パソコンを マスターする	06 会計コも使いこなせたい 05 ワールド・メール・インターネット検索は必修 04 自分専用のノートパソコンは必需品	家計簿、小遣い帳の記帳でマスターしておきたい 必要な資料は自分で作成する以外にない いつでも、どこでも、誰にでも見せられる
	① 積立貯金を 始める	03 毎月1万円からでも着実に続ける 02 (住んでいる地域 or 開業予定地) 01 地元の信用金庫に積立口座を開設	自己資金のコは「本気じゃない」とみなされる 「堅実に積み立てている」という姿勢が重要 貯金の総額はあまり気にしないでもよい